

大津市民病院
地域医療連携室
だより
第4号



三島 誠悟 副院長
兼麻酔科診療部長

私の専門は麻酔科です。一日の多くを手術室で過ごし、

地域の先生方や地域医療連携室との接点はあまりありません。しかし、考えてみるとそうでもないことに気づきました。年間入院患者12,000余人のうち約4,000人は手術を受けられ、麻酔科医はその7割に当たる人たちの麻酔管理をしています。そう考えますと全入院患者の2割以上が麻酔科の患者となります。

手術における麻酔管理の良し悪しで予後が変わりますが、個々の検証については困難です。しかし、昨今ずいぶん増加している大

腿骨頸部骨折、昨年行われた手術約100例の平均年齢は79歳でした。この年齢ですと、たいいていの方はそれなりの合併症があります。手術前の病棟、手術・麻酔、手術後のリハビリ、どれもが予後に影響してきます。

我々麻酔科医も最善を尽くしています。すべてが最善を尽くし、完璧に出来たとしても自宅に帰ることのできない患者も少なくありません。地域の先生方の手をお借りすることも、他の施設にお願いすることも多々あります。

そのようにして、病院は新しい患者の受入れを行っています。この連携を担うのが地域医療連携室であり、地域の先生方のお力であり、この連携がうまくいってはじめ、病院の医療が成立します。今後ともよろしくお願いいたします。

News

★季節性インフルエンザの予防接種を10月5日より実施します。

なお、新型インフルエンザの予防接種は厚生労働省の指示待ちの為未定です。「咳エチケット」を守って予防に努めましょう。

★大津市民病院ホームページをリニューアルしました。最新の新型インフルエンザ情報や「診察・検査依頼書」のダウンロードもできますので是非ご利用下さい。



「健康講座が開催されました」
外耳の病気〜耳掃除は耳に良くない〜
耳鼻咽喉科 豊田 健一郎

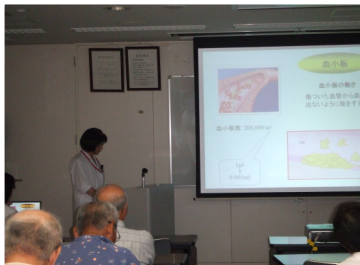


耳に異常を感じたら自己判断せず、すぐに耳鼻科医へご相談下さい。

病院で受けられる血液・尿・

心電図などの検査

臨床検査部 鉤 順子



検査は結果がでるまでに1時間ぐらいかかりますが、ご協力お願いします。

NSTとは

NST (Nutrition Support Team)とは栄養サポートチームの略で、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士などで構成されており、栄養管理が必要な入院患者について栄養管理計画を作成しています。

NST勉強会のご案内(前半)

10月8日 外科：加納

主観的包括的評価(SGA)

10月22日 心療内科：前林

客観的栄養評価(ODA)と栄養必要量の算出

11月12日 外科：加納

食道癌患者の術前の栄養管理

11月26日 リハビリテーション

部：言語聴覚士西川・松田他

嚥下リハビリテーション

栄養部：管理栄養士山崎

嚥下訓練食・濃厚流動食

12月10日 呼吸器科：平沼

慢性閉塞性肺疾患(COPD)

患者の栄養療法

12月24日 皮膚科：奥沢

褥瘡患者の栄養療法

★時間：17時30分〜19時

★場所：9階A・B会議室

★筆記用具・電卓をご持参下さい。